

第5回 全国鳥獣被害対策サミット

総合司会の 解題に変えて

兵庫県立大学
山端 直人

自己紹介

山端 直人 兵庫県立大学

専門:「農村計画」「アクションリサーチ」
「野生動物の被害管理」

～社会調査、集落づくり、
被害防除から捕獲まで～

自己紹介

山端 直人 兵庫県立大学

専門:「農村計画」「アクションリサーチ」
「野生動物の被害管理」⇒獣害対策

～社会調査、集落づくり、
被害防除から捕獲まで～

自己紹介

山端 直人 兵庫県立大学

専門:「農村計画」「アクションリサーチ」
⇒野生動物による農林業被害対策

～社会調査、集落づくり、
被害防除から捕獲まで～

総合司会の依頼を受けましたが

結構難しそう

被害対策、人材育成、ジビエ
獣害には色んな課題がある

事前アンケートへの質問内容(原文まま)

集落の高齢化、人口減少

■限界集落においては、経費・労力の観点から対策を進めること自体が困難。野生動物の生息域が変動(拡大)しているが、対策が後手になってしまう。

■当町は、中山間地域に有り、集落の一部は、高齢化により耕作放棄地も多数存在しますし、獣害対策を実施していただく地域住民も高齢化が進んでいるため、マンパワーが不足している。

事前アンケートへの質問内容(原文まま)

狩猟者の高齢化、人口減少

■狩猟者の高齢化、非農家の鳥獣被害対策への理解・意識醸成。

■有害捕獲を実施しても、被害の割にはイノシシを捕獲できておらず捕獲実施者の知識不足が問題である。有害捕獲実施者の高齢化が進んでおり、このまま進むと実施者が減少してしまう。なので、若手を取り込む事が問題である……

事前アンケートへの質問内容(原文まま)

捕獲後の処理問題

■ここ数年捕獲対策に力を入れ大幅に捕獲頭数が増加したが、捕獲後の個体の処理について課題が上がっており、有効利活用のため処理加工施設の整備も検討しているが、運営管理者の選定や販路の確保等の問題が解決できず、実際進められていない現状がある。

事前アンケートへの質問内容(原文まま)

自治体の人材問題

■自治体職員の人事異動に伴う、知識・技術レベルの低下

■異動があるため、長期的な人材育成が難しい

■県域で市町村担当者を対象に鳥獣被害対策研修会を開催するが、日常業務が多忙なため参加者が少ない。参加率を高める工夫が必要

自分で対応してきた現場で感じる課題や疑問を図示して解題に

H25年に大臣賞をいただいた伊賀市阿波地区



伊賀市阿波地区

住民自治協議会が地域づくりの一環で獣害対策を担う

シカ(イノシシ)対策の5箇条

予防

- 1 集落内の収穫残さや不要果樹など「エサ場」をなくす
- 2 耕作放棄地や藪などの隠れ場所をなくす

治療

- 3 囲える畑はネットや柵のできる限り囲う



集落のエサ場価値を下げる

手術

- 4 加害している個体を適切に捕獲する
- 5 適正な密度管理を進める

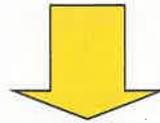
シカ(イノシシ)対策の5箇条

予防

- 1 集落内の収穫残さや不要果樹など「エサ場」をなくす
- 2 耕作放棄地や藪などの隠れ場所をなくす

治療

- 3 囲える畑はネットや柵のできる限り囲う



集落のエサ場価値を下げる

手術

- 4 加害している個体を適切に捕獲する
- 5 適正な密度管理を進める

集落・地域で
実施するほ
うが成果が
出やすい

政策(行政)
の役割

被害軽減の**技術**や**実証**は進んでいる

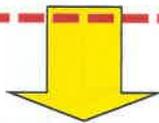
シカ(イノシシ)対策の5箇条

予防

- 1 集落内の収穫残さや不要果樹など「エサ場」をなくす
- 2 耕作放棄地や藪などの隠れ場所をなくす

治療

- 3 囲える畑はネットや柵でできる限り囲う



集落のエサ場価値を下げる

手術

- 4 加害している個体を適切に捕獲する
- 5 適正な密度管理を進める

防護柵

正しい設計とメンテナンス



●正しい設計でメンテナンスのできる計画的な設置……柵の外側もきれいにしている

正しい設計とメンテナンス



●何よりもメンテナンス……問題点を共有して、メンテナンスが可能な体制づくり



正しく設置すれば、確実に効果があるのが防護柵です



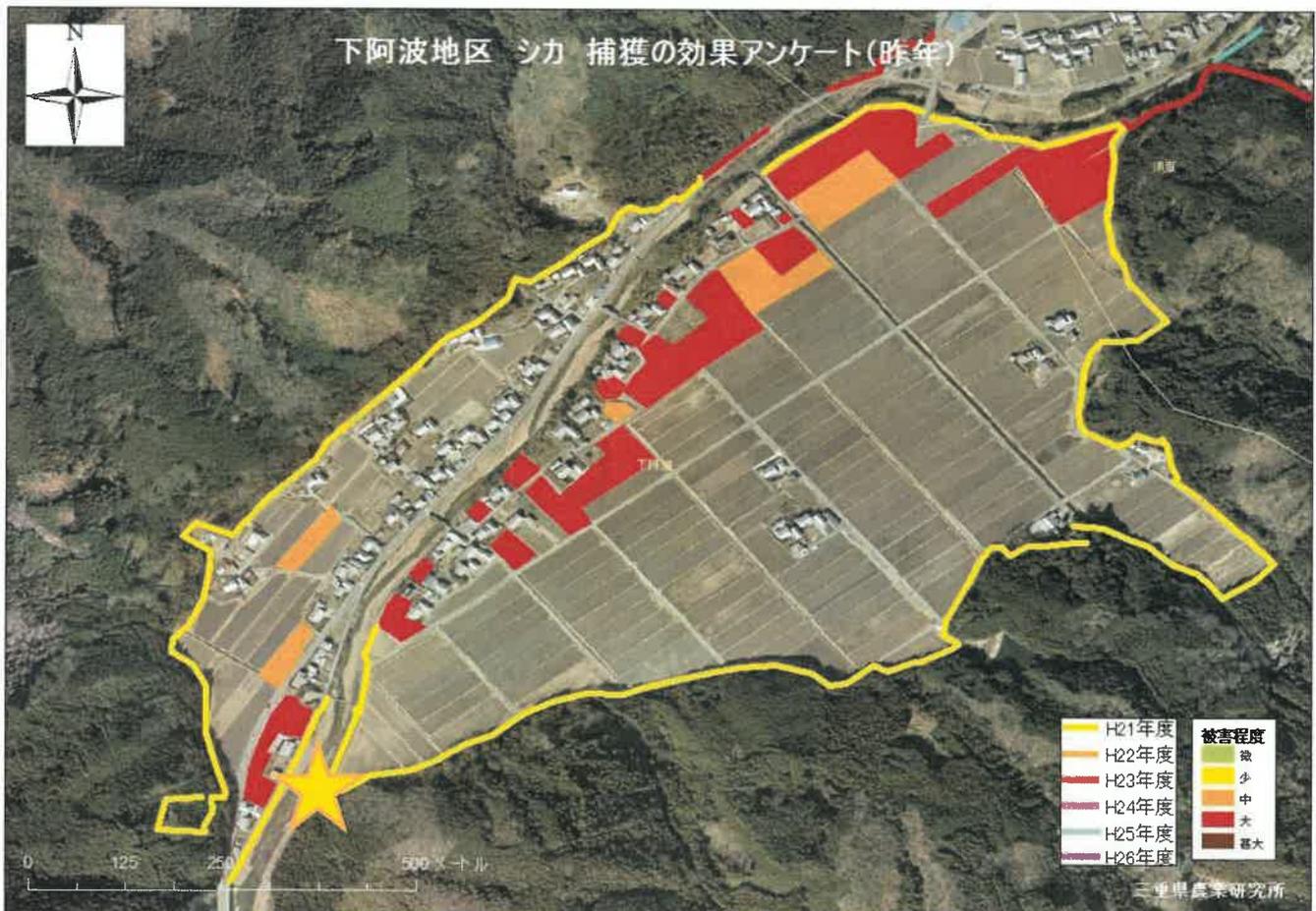
正しく設置とメンテナンスで被害軽減

防護柵十 加害個体の捕獲

防護柵設置前の被害

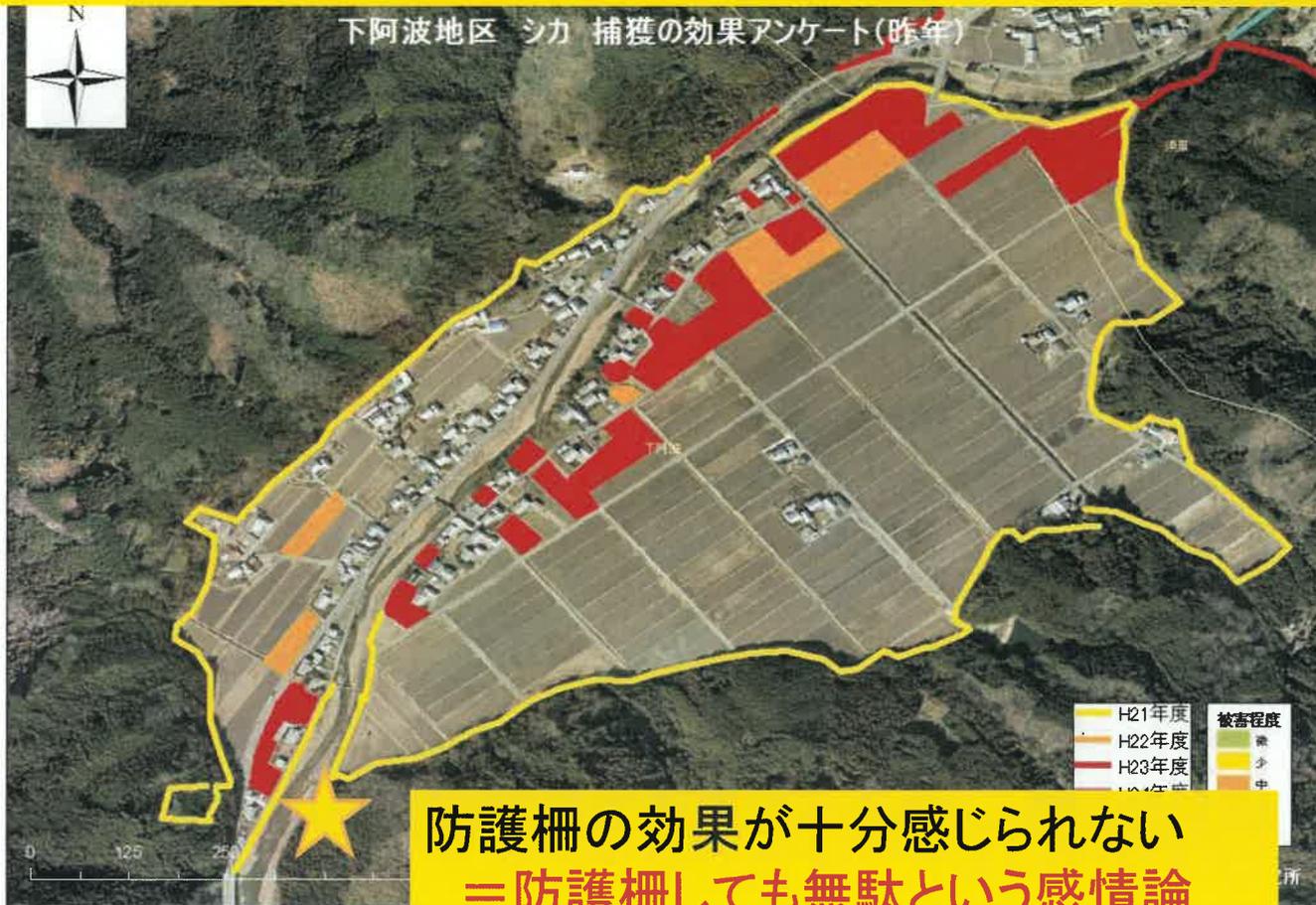


防護柵設置後の被害(軽減できているが、河川等からの侵入で効果は十分ではない)





防護柵設置後も、進入路からの被害が減らない(効果が実感出来ない)



防護柵設置後も、進入路からの被害が減らない(効果が実感出来ない)

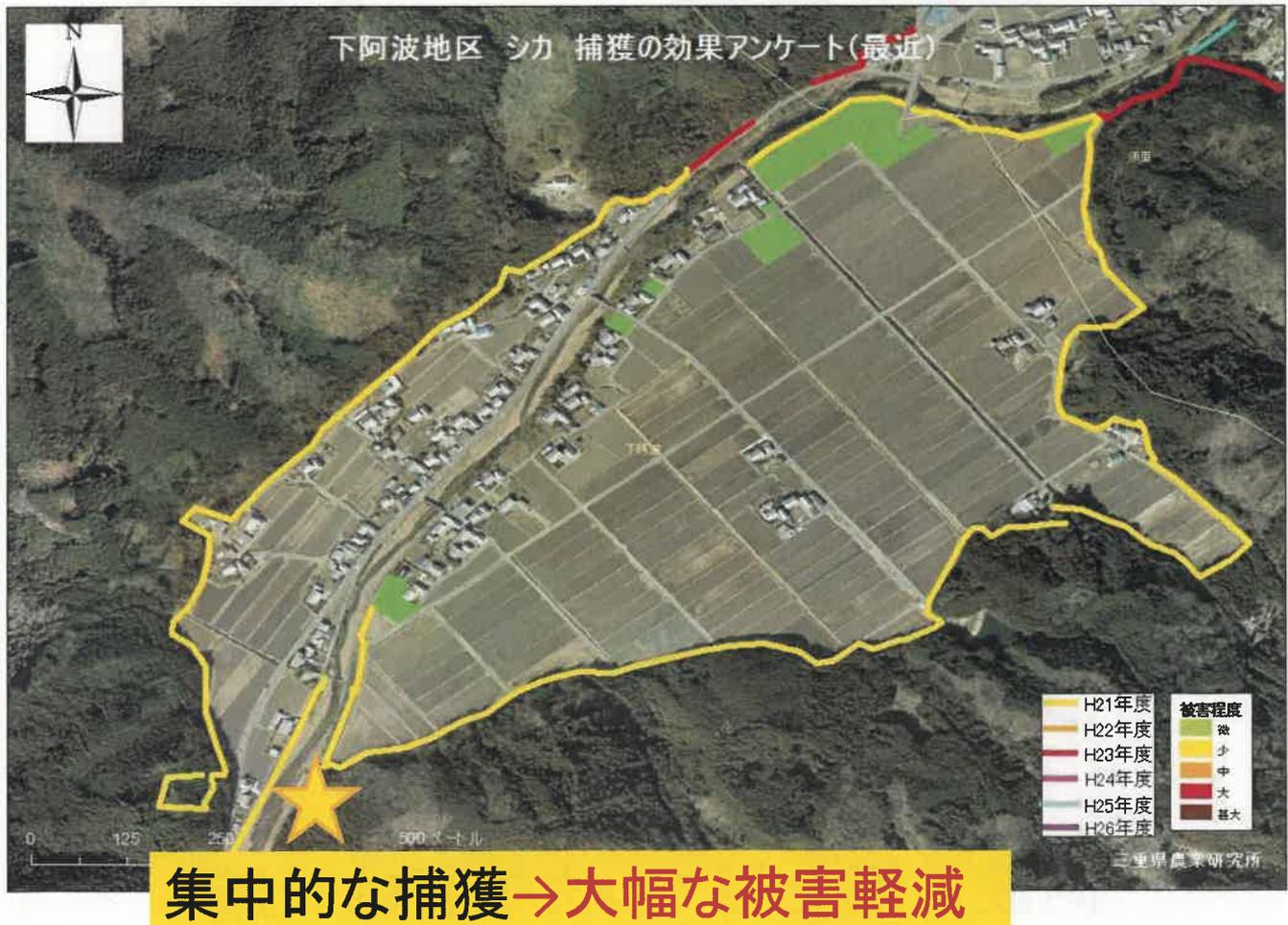


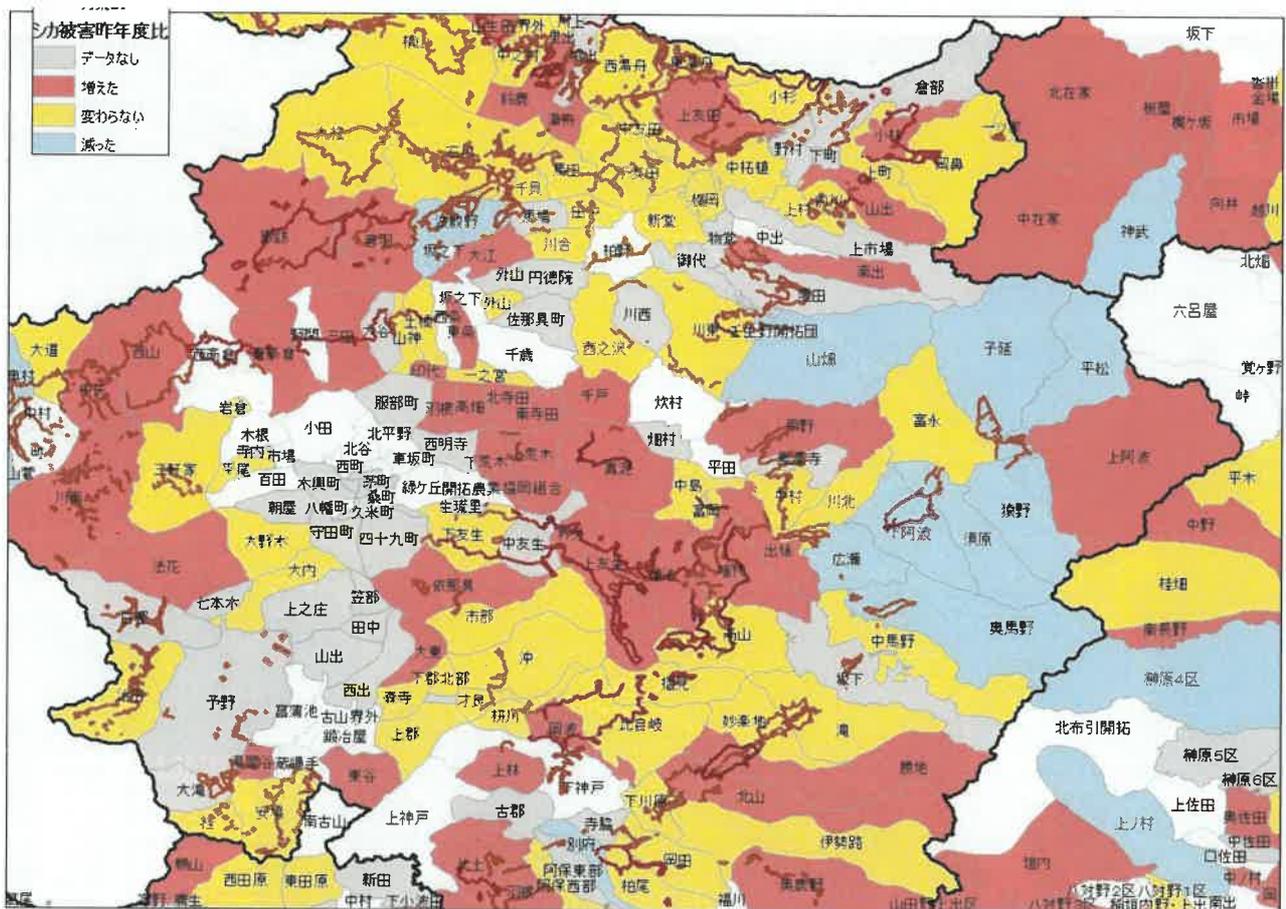
防護柵設置後も、進入路からの被害が減らない(効果が実感出来ない)

下阿波地区 シカ 捕獲の効果アンケート(昨年)



下阿波地区 シカ 捕獲の効果アンケート(最近)





阿波地域全域でシカ被害は軽減

被害軽減の**技術**や
実証は進んでいる

しかし
課題は残る

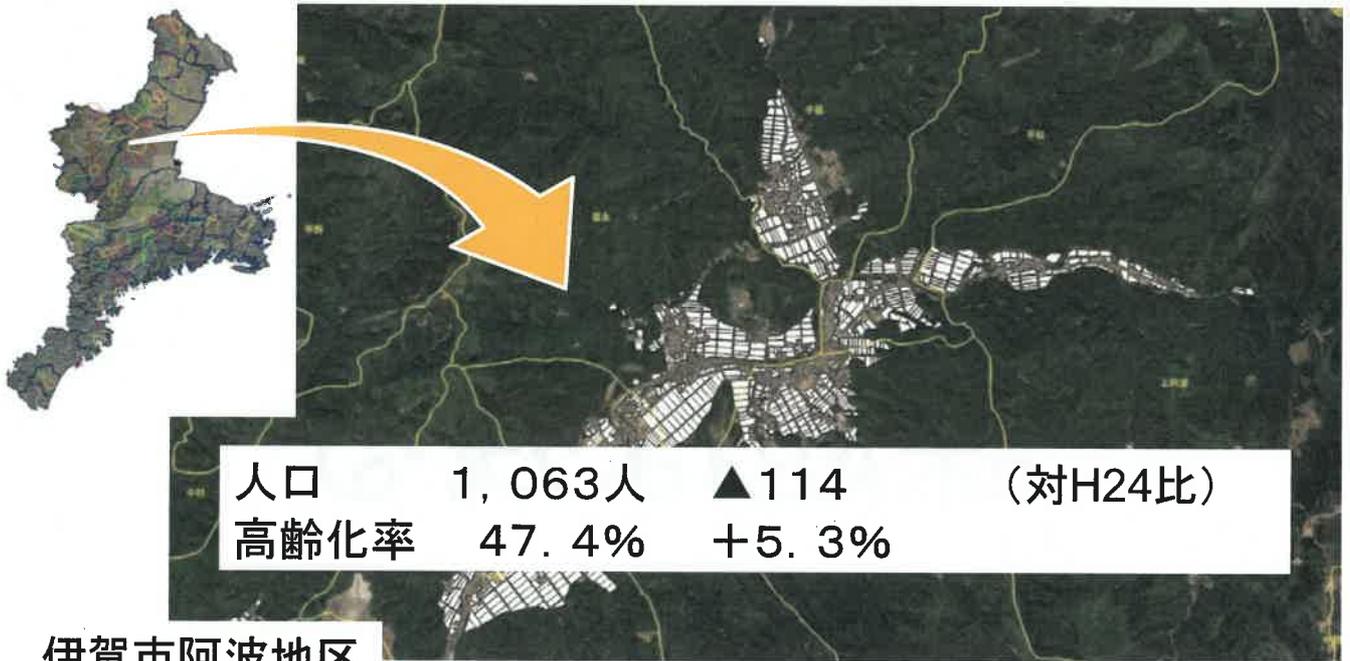
阿波地区の人口動態は・・・？



伊賀市阿波地区

		集落A	集落B	集落C	集落D	集落E	集落F	集落G	合計
集落の状況等	農家戸数(戸)	27	20	33	31	22	26	30	189
	耕地面積(ha)	21.5	11.1	24.1	24.0	12.7	13.9	21.6	128.9
	65歳以上農家率(%)	29.3	26.9	32.0	41.0	31.5	34.5	25.7	28.6

阿波地区の人口動態は・・・？



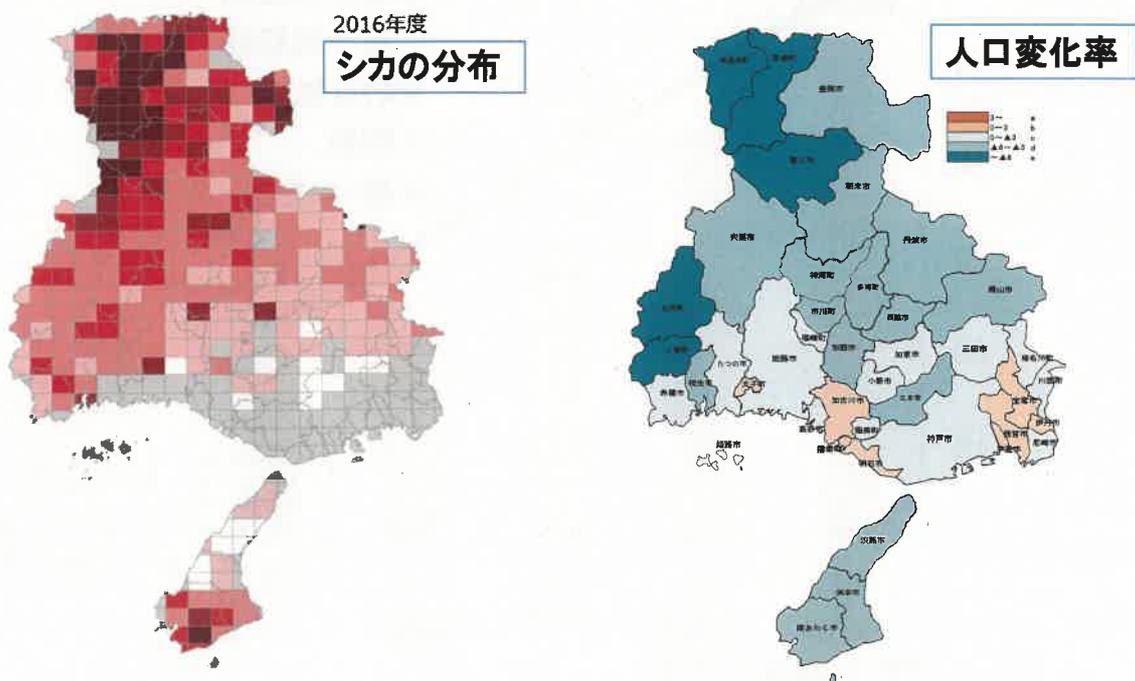
人口 1,063人 ▲114 (対H24比)
 高齢化率 47.4% +5.3%

伊賀市阿波地区

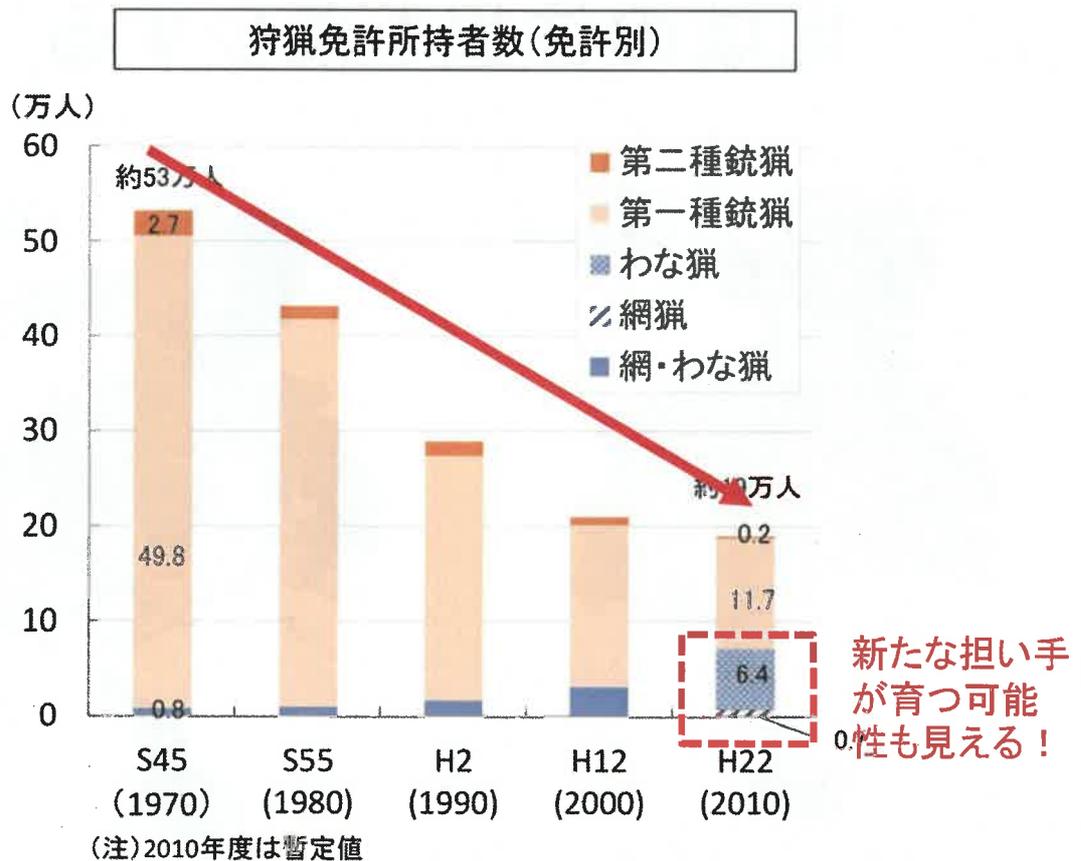
		集落A	集落B	集落C	集落D	集落E	集落F	集落G	合計
集落の状況等	農家戸数(戸)	27	20	33	31	22	26	30	189
	耕地面積(ha)	21.5	11.1	24.1	24.0	12.7	13.9	21.6	128.9
	65歳以上農家率(%)	29.3	26.9	32.0	41.0	31.5	34.5	25.7	28.6

被害対策の担い手である**住民も減少**

地域の住民も**減少**する



狩猟者も減少



中核的な 捕獲の担い手に**集積**

阿波地区の「中核的捕獲従事者」(阿波地区外に在住)

